

## 『国際公共政策研究』論文作成要領

### 1. 論文の形式と掲載決定後の作業について

論文の形式について、投稿の際は形式自由としていますので、「『国際公共政策研究』執筆・投稿・審査規定」の4. 投稿方法にしたがって提出して下さい。

レフェリーによる審査を経て掲載決定となった論文に関しては、以下のとおり電子公開のための版下作成作業をおこなっていただきます。これは、投稿者ご自身に版下作業を行っていただくことで、第三者の作業介入による編集ミス防止や公開までの期間短縮の施策となりますので、ご協力をお願いいたします。具体的には、論文をMicrosoft Word形式の指定スタイルに整える作業です。

論文の原稿作成時より以下の推奨ファイル（指定スタイル）をご利用いただくと、この作業は不要となり版下作成作業に手間がかかりませんので、こちらのファイルをよろしければご利用下さい。

#### （1）投稿論文（本文）の長さ

用紙サイズ A4 (210mm×297mm)、縦置き、横書きにて、以下の条件とします。

－日本語論文：1 ページ 40 行、45 文字。「論説」の場合は、タイトルページを除いて 22 ページ以内。ただし、編集委員会が、特例として 22 ページを超える執筆を許可した場合には、その許可されたページ数以内。「書評論文」および「判例研究」の場合には、タイトルページを除いて 9 ページ以内。

－英語論文：1 ページ フォントサイズ 10.5pt 40 行。“research article”の場合は、タイトルページを除いて 22 ページ以内。ただし、編集委員会が、特例として 22 ページを超える執筆を許可した場合には、その許可されたページ数以内。“review essay”および“case note”の場合には、タイトルページを除いて 9 ページ以内。

#### （2）電子公開用版下の指定スタイル

－電子公開用の版下は、Microsoft Word 形式です。

タイトル、執筆者名、本文、脚注のフォントや章立ての表記方法等、詳細は以下の（3）と（4）にてご確認ください。

－本会ホームページの「論文作成要領」に Microsoft Word 形式の推奨ファイル を置いています。

これには、用紙サイズ、ページ（余白、見開き設定など）、フォント、書式など以下の（3）がすでに設定されています。これに準じて 22 ページ以内で作成いただくことで、上記 1.（1）の条件での作成が可能です。（詳細設定を投稿者自ら行わずに利用できるように、これらのファイル（日本語版、英語版）の使用を推奨いたします。）

⇒ ダウンロード：<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/society/research.html#list03>

#### （3）形式

##### 1) ページ設定（日本語、英語とも共通）

###### ① 用紙

A4 210mm×297mm

###### ② 文字数と行数

横書き √ 文字数と行数を指定する

文字数：45 行数：40

③ 余白

複数ページの印刷設定：見開きページ

印刷の向き：縦 余白上：23mm 下：25mm 内側：22mm 外側：20mm

④ その他

セクション開始位置 √ 次のページから開始

ヘッダーとフッター √ 奇数/偶数ページ別指定 √ 先頭ページのみ別指定

用紙の端からの距離 ヘッダー：15mm フッター：17.5mm

(4) フォントなど、書式スタイル設定、その他

-1 日本語論文の場合

タイトルページ		
和文表題	HG明朝B、17pt、標準、中央揃え	
和文副題	MS明朝、12.5pt、標準、中央揃え	
英文表題	TimesNewRoman、17pt、標準、中央揃え	
英文副題	TimesNewRoman、12.5pt、標準、中央揃え	
和文著者名	MS明朝、12.5pt、標準、中央揃え	
英文著者名	TimesNewRoman、12.5pt、標準、中央揃え	
Abstract(本文)	TimesNewRoman、10pt、標準、両端揃え	<b>200 words</b>
キーワード(日本語)	MSゴシック、10pt、標準	5つまで
Keywords(English)	TimesNewRoman、10pt、標準	up to 5 words
本文		
章タイトル(見出し1)	MSゴシック、12pt、標準	半角"1."から昇順に付与
節タイトル(見出し2)	MSゴシック、11pt、標準	半角"1.1:"から昇順に付与
図表タイトル	MSゴシック、9pt、標準、中央揃え	図はタイトルを図の下に配置。 表はタイトルを表の上に配置。
図表注釈	MSゴシック、7.5pt、標準、行間 固定値9pt、段落前2pt、段落後0pt	図・表ともに直下に配置
本文	MS明朝、10.5pt、標準、行間1行、両端揃え	
本文注釈 欄外脚注スタイル	MS明朝、8pt、標準、行間 固定値9pt、 同じ段落の場合はスペースを使用しない	本文中に脚注番号を付与。 番号は連番で半角"1"から昇順。
参考文献		
参考文献タイトル	MSゴシック、10.5pt、標準	<参考文献>
日本語参考文献	MS明朝、9pt、標準	
外国語参考文献	TimesNewRoman、9pt、標準	TimesNewRoman使用不可の言語ではその他フォントも可。ただしPC依存、プリンタ依存のフォントは避ける。

※日本語ファイル中の英字フォントはCenturyに設定されています。

## -2 英語論文の場合

Title Page		
Title	TimesNewRoman, 18pt, Bold, Center	
Subtitle	TimesNewRoman, 12.5pt, Standard, Center	
Author	TimesNewRoman, 12.5pt, Standard, Center	
Abstract	TimesNewRoman, 10pt, Standard	<b>200 words</b>
Keywords	TimesNewRoman, 10pt, Standard	up to 5 words
Text Page		
Chapter title	TimesNewRoman, 12pt, Bold	Numbering: Count up from Arabic Number "1."
Section title	TimesNewRoman, 11pt, Bold	Numbering: Count up from Arabic Number "1.1"
Figure/Table title	Arial, 10pt, Standard, Center	The title of figure, set under the Figure. The title of table, set before the Table.
Figure/Table notes	Arial, 9pt, Standard, Line-space 9pt, prior to paragraph 2pt	Set directly under the table/figure.
Body text	TimesNewRoman, 10.5pt, Standard	
Footnote	TimesNewRoman, 9pt, Standard	Set the footnotes number to the sentence or word in the body sentence.
Bibliography Page		
Reference or Appendix title	TimesNewRoman, 11pt, Bold	
Reference or Appendix body sentence	TimesNewRoman, 10pt, Standard	If not possible, Use other font. But it is necessary to be Standard type font.

### 2. 参考文献等の引用に関する注意事項

参考文献を付する場合には、原則として本文中に引用したもののみを末尾に参考文献としてまとめて下さい。参考文献は日本語文献、欧語文献に分け、著者の姓を前者はあいうえお順、後者はアルファベット順に配列して下さい。その他の言語の文献を挙げる場合は、当該分野の慣行に従って下さい。また、本文中で引用する場合には、Keynes (1936b, p.230) または森嶋 (1974) のように引用して下さい。ただし、参考文献を脚注に記す場合にはこの限りではありません（法律系・政治系の論文の場合など）。

<記載様式>

『国際公共政策研究』として参考文献等の記載様式を統一することはしていませんが、著者名・編者名・書名・誌名・論文標題・版表示・出版社・出版年・巻号・ページなどを正確に記載して下さい。英文文献の場合には、Chicago Manual of Style に従って記載することを推奨します。日本語文献の場合にも、上記に準じて記載することを推奨します。以下の書籍・URL を参照して下さい。1. と 3. の書籍については OSIPP ライブラリーにも所蔵しております。

1. University of Chicago Press. 2010. *The Chicago Manual of Style*, 16<sup>th</sup> ed. Chicago: University of Chicago Press.
2. The University of Chicago. 2011. "The Chicago Manual of Style Online."  
<http://www.chicagomanualofstyle.org>.
3. Turabian, Kate L. 2007. *A Manual for Writers of Research Paper, Theses, and Dissertations: Chicago Style for Students and Researchers*, 7<sup>th</sup> ed. Chicago: University of Chicago Press.
4. 科学技術振興機構. 2011. 「参考文献の役割と書き方：科学技術情報流通技術基準（SIST）の活用」, [https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST\\_booklet2011.pdf](https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf)

### 3. 論文の提出方法・注意事項

タイトルページと論文（本文）に関しては、メールにて、『国際公共政策研究』編集委員会（[ippsedit@osipp.osaka-u.ac.jp](mailto:ippsedit@osipp.osaka-u.ac.jp)）宛てにお送り下さい。メールでの提出となりますので、ファイル容量にご注意下さい。

### 4. その他

上記1.（2）におけるMicrosoft Word形式での提出が難しい場合には、編集委員会へご相談下さい。

『国際公共政策研究』編集委員会  
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-31  
大阪大学大学院国際公共政策研究科内  
大阪大学国際公共政策学会

(2024年4月10日更新)